

JAといで総合医療センター パーキンソン病に対する短期集中リハビリテーション PDメソッド・外来

パーキンソン病は、病気そのものによる障害と、運動量が減ることによる廃用症候群が重複して機能障害がおこります。運動療法は、身体機能・健康関連QOL・筋力・歩行速度の改善に有効とされており、発症早期から行うことが望ましいとされています。

<対象となる方>

- ・パーキンソン病、パーキンソン症候群と診断された方
- ・状態が安定しており、定期的なリハビリテーション通院が行える方
- ・ご自宅での自主練習を行える方
- ・医師より、短期集中リハビリテーションが行えると判断された方



<期間・時間>

原則6～8週間（週2～3回）外来通院し、1時間の運動療法を実施します

※お身体の状況により変更となることがあります

開始時および修了時、修了後に定期的なお身体の状況確認を行います（3年間を予定）

<プログラム内容>

開始時・修了時にお身体の状況確認を行います

※状況により変更されることがあります

本プログラムは、過去の研究から有効とされている内容を参考に作成した当院オリジナルのプログラムで、個人に合わせ一部内容を調整して行います

例：姿勢・運動制御トレーニング、筋力強化トレーニング、歩行トレーニング、有酸素トレーニング、など

個人に合わせた自主練習メニューを提供します

短期集中リハビリテーションに興味のある方は、診察の際に主治医に御相談ください
PDメソッド・外来の他、PDメソッド・入院、外来リハビリテーション
（LSVT BIG®/LSVT LOUD®/個別リハビリテーション）も行っています

問い合わせ：リハビリテーション部

